

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社ディスコ（証券コード:6146）

### 【据置】

長期発行体格付  
格付の見通し

AA-  
安定的

### ■格付事由

- 「切る・削る・磨く」の3分野に特化する半導体製造装置メーカー。ダイシングソー、グラインダ、ポリッシャといった精密加工装置と、これらの装置に装着し切削工具として使用される精密加工ツール（消耗品）の双方で圧倒的なシェアを握る。顧客から持ち込まれる様々な素材のテストカットなどを通じて顧客ニーズに応じており、装置と消耗品の最適な組み合わせ・加工方法を顧客に提供できる点が強みである。また、これらを通じて顧客の囲い込みも実現している。
- 半導体市場や半導体製造装置市場が軟調に推移する中でも、当社の業績はおおむね堅調である。顧客のすそ野は広く、EVなどに搭載されるパワー半導体の装置需要が依然旺盛である。また、半導体製造前工程における微細化などの難易度が高まる中、当社が主力とする半導体製造後工程装置の領域においても付加価値が高まる方向にある。足元では生成AI向けのHBMと呼ばれるDRAMにおいて、当社のTSV（Through Silicon Via）技術が量産適用される見込み。財務面では手元流動性や自己資本の厚みが引き続き増す方向にある。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。定量水準の一段の向上が進むか注目していく。
- 23/3期営業利益は1,104億円（前期比20.7%増）と3期連続で過去最高を更新し、売上高営業利益率は38.9%に高まった。24/3期業績予想は第3四半期まで開示されており、第3四半期累計の営業利益は734億円（前年同期比7.2%減）の計画である。今後、第4四半期から25/3期第2四半期にかけて、HBM関連のまとまった装置出荷が想定されており、業績の押し上げ効果が期待できる。
- 安定した期間利益の積み上げを主因に自己資本の拡充が進んでいる。24/3期第2四半期末の自己資本比率は73.0%と高い。また、キャッシュフロー創出力の向上を背景に、手元流動性は厚みを増す方向にあり、すでに無借金となっている。設備投資負担はもともと重くなく、良好な財務構成が損なわれる懸念は小さい。

（担当）千種 裕之・関口 博昭

### ■格付対象

発行体：株式会社ディスコ

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年12月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「電機」(2011年7月13日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社ディスコ
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル